

都市農地活用支援センター 定期講演会2019 開催案内

国土交通省提唱
「土地月間」
参加行事

新しい都市農地制度の 活用と展望

【日時】

10月29日(火)

【会場】

東京ウィメンズプラザ

13:30~16:30 (13:10開場) 地下ホール (東京都渋谷区神宮前5-53-67)

【内容】

情報提供

新しい都市農地制度の活用状況等について

国土交通省 都市局都市計画課

農林水産省 農村振興局農村政策部 都市農村交流課都市農業室

講演
1

農業市民とまちづくり

<講師> 小池 聡氏 (名城大学 都市情報学部教授)

講演
2

緑・農・住の新たな可能性 ～住宅事業者の視点から～

<講師> 大木 祐悟氏 (定期借地権推進協議会 運営委員長)

【参加方法】 以下①②のうち、いずれかの方法によりお申込み下さい。

- ① Webサイト⇒当センターWebサイトの申込フォームに必要事項を入力し送信
- ② E-MailまたはFax⇒氏名・所属・連絡先(住所/E-Mail/tel/fax)を記載の上、下記連絡先宛てに送信

定員
200名

参加
無料

申込み
先着順

■主催/連絡先：一般財団法人 都市農地活用支援センター

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-9-13 岩本町寿共同ビル4階

http://www.tosinouti.or.jp E-Mail: moushikomi@tosinouti.or.jp

tel: 03-5823-4830 fax: 03-5823-4831

■共催：定期借地権推進協議会

■後援(予定)：国土交通省 全国農業協同組合中央会

申込入力フォーム



■開催趣旨

本講演会は、都市農地の関係者をはじめとして幅広い層の方に、都市における貴重な資源である農地の役割と利用・保全のあり方を考える契機としていただくため、毎年、国土交通省が提唱する「土地月間」に併せて実施しているものです。

今回は、昨今の生産緑地法等の改正や、都市農地の貸借円滑化法の成立など、都市農地を取り巻く一連の法制度の改正を受けた現状の課題や今後の展望についてとりあげます。まず、国土交通省、農林水産省の担当官より法制度の活用状況等、最新の情報を提供いただきます。続く、講演1では、今後の都市農地を活用したまちづくりの展開における新たな担い手像について、市民（農業市民）による都市農業への参画の視点から、専門家よりお話をいただきます。また、講演2では、定期借地権の活用を含めた、今後の都市農地活用の展望について実務の専門家よりお話をいただく予定です。

多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

■講師プロフィール

小池 聡

(こいけ さとし)

(名城大学 都市情報学部 教授)



大木 祐悟

(おおき ゆうご)

(定期借地権推進協議会
運営委員長)



1998年京都大学大学院農学研究科(熱帯農学専攻)博士課程修了、農学博士。財団法人農村開発企画委員会研究員を経て、2000年より現職。専門は農村計画。大学では「都市と生態環境」などの授業を担当。

主要論文として「混住地域におけるコミュニティ形成に関する研究」(農村計画学会誌12(1)、1993年)、「住民主体で策定される集落土地利用計画の問題点」(農業土木学会誌74(4)、2006年)、「大都市郊外で活動する『市民農』集団の研究」(農村計画学会誌35(Special Issue)、2016年)など。その他、集落地域の整備に関する調査報告書多数。また大学のゼミでは地域と連携して里山再生活動にも取り組んでいる。

早稲田大学商学部卒業。旭化成工業株式会社入社後、1993年から借地問題、集合住宅、都市農地問題、高経年マンションの再生等をはじめとする不動産コンサルティング業務に携わる。現在は、旭化成不動産レジデンス株式会社マンション建替え研究所に所属。また、2007年から定期借地権推進協議会推進協議会運営委員長に就任、現在に至る。

著書に「定期借地権活用のすすめ」、「マンション建替えの法と実務」(共著)他。また、2022年問題については「住宅新報」で昨年4月に連載等。

■会場へのアクセス

- 渋谷駅 宮益坂口より徒歩12分
(JR線/東急東横線/京王井の頭線/東京メトロ副都心線)
- 表参道駅 B2出口より徒歩7分
(東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線)
- 都営バス(渋谷88系統)
渋谷駅から所要4分「青山学院前」バス停より徒歩2分



■お知らせ

- 都市農地活用支援センター 情報誌
「都市農地とまちづくり第74号」

10月下旬にホームページ掲載予定

<http://www.tosinouti.or.jp/>

生産緑地法等の改正、都市農地の貸借円滑化法、地方自治体の取り組み、そのほか都市農地をめぐる新たな動き等について、本講演会に関連する情報を多数掲載しています。併せてご覧ください。

